

2019年5月発行

～不正咬合と矯正治療～

けんせい歯科所長 歯科医師 浅野貴博



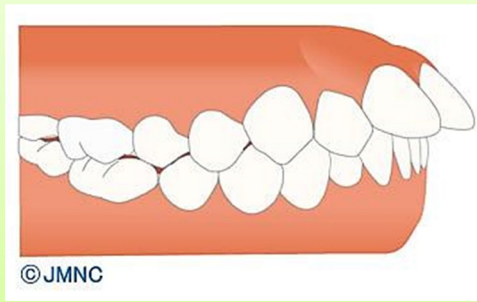
矯正治療とは、悪い歯並びや噛み合わせ（不正咬合）をきちんと噛めるようにして、きれいな歯並びにすることです。

この不正咬合をそのままにしておくと、食べ物が良く噛めず、言葉が明瞭ではなくなる、虫歯や歯周病になりやすく、顎の関節に負担をかけたりします。

不正咬合には、下記のようなパターンがあります。

上顎前突

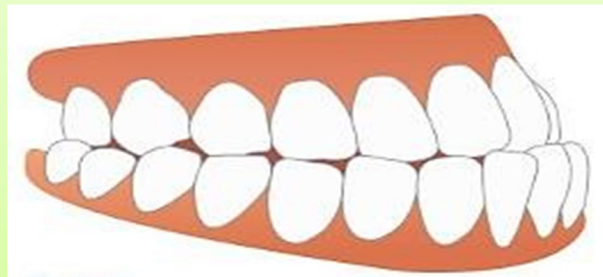
上の前歯が前に大きく出ているいたり、上の歯並び全体が前に出て噛んでいる状態です。



©JMNC

反対咬合・下顎前突

下の歯が上の歯より前に出ている噛み合わせで、上下の前歯の傾きによる場合と、上顎が小さい、又は下顎が大きい場合とあります。上顎前突も反対咬合・下顎前突も、上下顎の関係が悪い場合は、顎の成長と共に治療した方が良いでしょう。



© JMNC

叢生(そうせい)

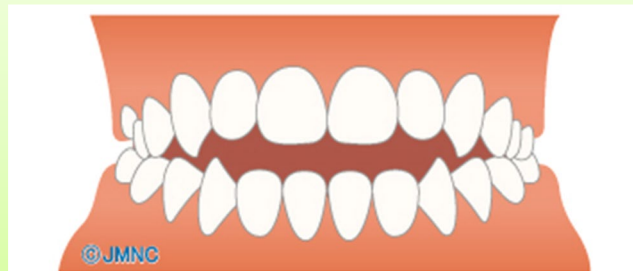
歯並びがデコボコになっている状態です。



©JMNC

開口

噛んでも上の前歯と下の前歯が開いている状態です



©JMNC

けんせい歯科では第2週土曜日（岩下） 第3週（新原）において矯正治療を行っています。矯正治療に関する相談は無料で行っています。